

令和元年度 研究のまとめ報告書

豊かな心と健やかな体の育成

平成27年度 東京都教育委員会オリンピック・
パラリンピック教育推進校・研究開発校
(中央区立久松小学校ホームページ参照)

平成28年度 東京都教育委員会オリンピック・
パラリンピック教育推進重点校
(同左ホームページ参照)
平成29～31年度 東京都
教育委員会オリンピック・
パラリンピック教育
アワード校



研究のねらい

小学校

○全ての教育活動の中で、小集団活動を核に、より主体的・対話的で深い学びをめざすことで主題に迫る。

幼稚園

～季節を感じて遊ぶ子どもを育てるために～
季節を感じる遊びやあり方を探る。

研究の内容

小学校

- 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現をめざした小集団活動による学び合い学習（何をどのように学ぶか）の充実・定着（全学年・全教科等の実践例の蓄積）
- 全教科等における小集団活動を核とした言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成
- 心と体の健康教育の充実

幼稚園

- 幼児が身近な自然に触れ合って遊ぶ楽しさを味わえるような場の設定
- 季節感のある遊びや環境の工夫、教師の援助

令和2年3月

中央区立久松小学校 中央区立久松幼稚園



久松の研究

目 次

○ 久松の研究.....	1
○ 実践事例(小学校).....	4
○ 実践事例(幼稚園).....	11
○ まとめ.....	15

豊かな心と健やかな体の育成

～自分やみんなを大切にする児童の育成を目指して～

「小集団活動と言語活動の充実を核とした課題解決型学習を推進することでコミュニケーション能力や感性を育み、育てたい姿・めざす姿の子どもを育成する」

子どもたちの環境と現状

- 気の合う限られた集団内での関わり、コミュニケーション
- インターネット・メールでのコミュニケーション
- 思いを一方向的に伝える
- 友達や仲間に関する悩みの増加
- 自尊心の低下
- 低い水準で推移する体力
- 情報化・人工知能の進化

多様な課題

求められる資質・能力

知的能力・社会的能力

- 思考力・判断力・表現力(未知の状況に対応できる力)
- 主体性(学びに向かう力・思いやりの心・人間性)
- 思考の基盤となる基礎学力(生きて働く知識・技能)
- 合意形成能力(協力した課題解決)
- 論理的思考力(論理的に述べて問題を解決する)
- 自分と他者を大切にする心

健康・体力

伝えたいという気持ちの高まり

集団の高まり

育てたい姿・めざす姿

- 主体的かつ自律的に活動し、他者と効果的なコミュニケーションをとる子ども
- 多様な価値観をもつ人と協力・協働し、課題を解決できる子ども
- **思考力・判断力・表現力** **主体性** **多様な考え** **自主性・社会性** **対応力(場・相手)** **思いやりの心** **思考の深まり** のある子ども

一人一人の主体的・対話的で深い学びの保障

主体的な学び

- ◆ 学ぶこと・ねらいへの興味・関心、学習の振り返りの中でよさや可能性への気づき

対話的な学び

- ◆ 子ども同士の協働、教員や地域の人との対話・交流の中で気づき・思い・考えの共有

深い学び

- ◆ 教科等の特質に応じた思考・判断・表現
- ◆ 関係性やつながり、系統性などへの気づき・納得

全ての教育活動における課題解決学習

言語活動

- 体験を表現する・まとめる・書く・伝える・伝え合う・聴き合う
- 対話・討論などにより、よりよいことに気付いたりまとめたりする

小集団活動

- 他者認識と自己認識力の向上
- 違いを受け入れる(多様性の受容)
- 自己肯定感・表現意欲の向上
- 思いやりの心
- 関わる力

体験活動

- 多様な直接・間接体験の充実
- 非言語コミュニケーションを含めた多様な経験
- 課題の発見

育てたい姿・めざす姿に迫るための方法・手だて

あ い さ つ

校 長 植村 洋司

本校は、これまで長きにわたり「豊かな心と健やかな体の育成」を研究主題とし、小集団活動を核として研究を推進してきました。本年度は、これまでの研究成果を受け継ぎつつ、新学習指導要領のポイントでもある特別の教科道徳と外国語(英語)科・外国語(英語)活動に焦点化し、実践的な研究を進めてまいりました。その中で、学校全体で貫いてきたことは「日々の授業の充実」です。そのために学年内で交換授業を行うなど、組織的に連携・協力して切磋琢磨してまいりました。このことは、若手の育成にもつながり、全教職員の指導向上を図ることができました。

この度、本年度の校内研究の一端を幼稚園・小学校が共同してまとめることができました。皆様の御批評をいただきたくお願い申し上げます。今後とも、更なる保育・授業の質の向上を目指して学校・園全体で精進してまいります。御指導いただきました講師の先生方、中央区教育委員会はじめ関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

各教科等において小集団活動と言語活動の充実を図る

全教育活動で言語活動の充実というねらいをもった小集団活動を推進することで「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を実現し、研究主題に迫る。

小集団活動の充実

そのための手だて・工夫

自分の思考(要素Ⅰ)

- 学習課題に対して自分の考えをもつ **主体性**
- 自分の考えをどのように表現するか考える **主体性** **思考力・判断力・表現力**

伝え合い(要素Ⅱ)

- 自分の考えを伝え、他者の考えを知る。 **思考力・判断力・表現力** **思いやりの心**
- 他者との伝え合いを通して、多様なものの見方・考え方に触れる **多様な考え** **思いやりの心**

思考のまとめ(要素Ⅲ)

- 他者との伝え合いを通して、再び自分の考えをより確かに、より広く、より深める **思考の深まり**
- 自分の考えを自分の言葉で、他者によりよく表現する **多様な考え** **対応力**
自主性・社会性 **思いやりの心**

◆思考力・判断力・表現力の育成 ◆コミュニケーション能力の育成

〈PISA 調査などの各種調査からの課題〉

- 思考力・判断力・表現力等を問う
読解力や記述式問題
- 知識・技能を活用する問題

〈これからの社会や企業が求める能力〉

- 知的能力
 - ◆思考力・判断力・表現力等の能力や自ら学習に取り組む態度
 - ◆思考の基盤となる基礎学力や教養
- 社会的能力
 - ◆チームで協力して課題を解決する「合意形成能力」
 - ◆論理的に述べて問題を解決する「論理的思考力」

主体的な学び・対話的な学び・深い学びと本校・本園の研究実践

従来行ってきた小集団活動を核とした学習指導の蓄積を新たな視点で見直し、より主体的・対話的で深い学びをめざす中で、主題「豊かな心と健やかな体の育成」に迫る。何ができるようになったのかを明確にし、そのためにどのように学ぶのかを大切にします。

(幼児期からの継続性を大切に一人一人に保障する)

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

周囲の環境に興味や関心をもって働き掛ける。
見通しをもって粘り強く働き掛ける。

(幼 児 な り に)

他者との関わりを深める中で、自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり、協力したりして自分の考えを広げ深める。

直接的・具体的な体験の中で様々な見方・考え方を働かせて対象に関わり、心を動かし、自分なりのやり方、ペースで試行錯誤を繰り返し生活する。

(学年等の発達に応じた系統性を大切に一人一人に保障する)

児童期の終わりまでに育ってほしい姿

相手意識・目的意識をしっかりもち、**小集団**での表現活動の中で自らの学習を振り返る。振り返りの中で自己のよさや可能性に気づき、意欲を高める。

小集団活動による交流の中で、一人一人の気づき、考え、思いが共有され新たな気づきや関係を明らかにする。
相手を思いやる交流・関わりができる。

各教科等のもつ、それぞれの特質を大切に**小集団活動**を充実させることで、気付いたことを基に考え、新たな気づきを生み出す。関係性やつながり、系統性などに気づき納得する。
振り返りによるつながりなどの気づき、納得、腑に落ちる。

学びに向かう力

学びの質を高める

納得できる深い学び

小集団活動を活性化する手だて・工夫で深い学びに迫る

豊かな心と健やかな体の育成

これまで
めざして
きたこと

主体性 関わる力 質の高い学び

小集団活動を核とした
コミュニケーション能力の向上・言語活動の充実

- 久松小学校の小集団活動…2人・3人・4人の活動で、視点を決めて見合う、意見や思いを伝え合う中で、相手を考えた伝え方を学び、自分の考えを広げたり、深めたりする。主体性や思考力・判断力・表現力などを育成する。

1年 道徳 「こくばんとうばん」 C 勤労 公共の精神

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

目指す児童像

【豊かな心】感じたことや考えたことを友達と交流し、よりよく生活しようと思う子

具体的手立てと活動

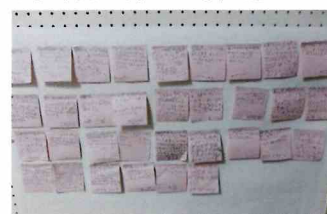
学習問題設定の工夫

・テーマごとに小単元をつくり、授業を組み立てた。
12月のテーマ「じぶんのために、みんなのために」ありとぎりす・こくばんとうばん
・テーマを提示しながら、授業を行うことで、児童が前時に学んだことと関連付けながら、深く学んでいた。



←1單元ごとの学習の足跡

↓小単元を終えて、振り返り



綱引きチャート

児童が「進んでしたい気持ちと後ろめたい気持ち」をホワイトボード上で心カードを動かし、視覚的に表現できる。どちらとも言えず迷っている児童にとって、色の割合で示す事ができるため、気持ちを素直に表しやすくなり、自分の考えを伝えやすくなった。また、色が偏っても、理由を考えることで様々な価値に気付くことができた。



板書の工夫

教科書を児童の手元に置かず、場面絵を黒板に貼り、場面を展開していく中で、登場人物が発した言葉や気持ちを順番に表示し、誰がどんなことを考え言っているのか視覚的に分かりやすくした。



小集団の活用

〈ペアトーク〉

話し合いを充実させ、自分の考えを明確にするために、ペアトークを取り入れた。時間は、1分程度とし、その中でお互いの気持ちやその理由を述べ、隣同士、次に後ろなどと相手を変えながら多様な考えに触れさせた。



わたしは、ここだと思う。どうしてかという、...

2年 音楽 音楽づくり 「おまつりの音楽」

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

目指す児童像

【豊かな心】自分の考えや願いをもち、創意工夫しながら考えたことを表現できる子

【豊かな心】友達と考えを伝え合い、互いのよさや違いに気付きながら表現を楽しむことができる子

具体的手立てと活動

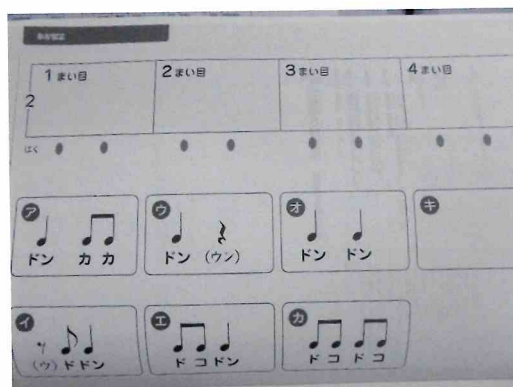
発表会による交流

グループの発表を聴き合い、表現のよさや面白さを感じ取った。聴く側にはワークシートを配布し、聴く視点をもたせるとともに、良かったところやアドバイスを記述させた。



教材と課題設定の工夫

リズムカードを使った音楽づくりの活動を、ゲーム感覚で楽しむことができる教材。そこに2つの条件を設定し、共通事項の「反復」や「フレーズ」について児童が意識化するようにした。また、演奏する楽器を選択させることによって「音色」にも注目させるようにした。



小集団活動の活用

4～5人のグループになり、リズムをつなげる順番を考えたり、楽器を選んだりした。うまくリズムがつながるように声を掛け合って練習する様子や、素材による音色の違いに注目して楽器を選ぶ姿が見られた。



個の思考を深める時間の設定

「マイリズム」をつくることによって、一人一人が自分の思いをもって音楽づくりに関わるようにした。そして、各自がつくったリズムをオルガンから流れる8ビートにのせてリズムリレーをした。そのことによって、拍の流れにのってリズムを打つことに慣れさせるとともに、互いのリズムを聴き合う場とした。



3年 英語 Unit8 「What's this?」

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

目指す児童像

【豊かな心】主体的に外国語を使って、コミュニケーションを進んで図ろうとする子

【豊かな心】相手との関わりを大切にしながら楽しく表現することができる子

具体的手立てと活動

小集団活動の活用

小集団を組むことで、より安心して質問したり答えたりする活動ができると思われる。この活動を繰り返し行うことでコミュニケーションを楽しむことができると考えた。また、本時では、クイズ作りを行い、友達と話し合う中で既習事項を活かしながら協働してクイズを考えられるようにした。



必然性を意識させる単元計画の設定

放送委員会と連携して、単元の最後に3ヒントクイズを作り、放送で全校に向けてクイズを出そうという目標を設定し、主体的な学びに繋げた。



右:英語講師 ハイロ・ロドリゲス

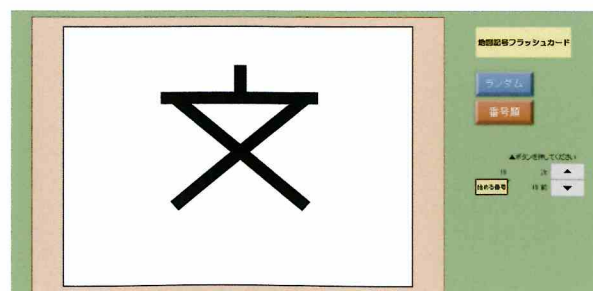
段階的な言語活動の取り入れ

コミュニケーションを図るために必要な単語、言語表現にはチャンツや、絵カード、アルファベットカード等を使った活動を毎時間行うことを通して、繰り返し触れさせるようにした。



他教科との関連

社会科で学習した地図記号も取り扱うことで児童の興味・関心を持続させることをねらいとしている。また、取り扱う地図記号が表すもの(工場や学校など)の英語の言い方にもたくさん触れさせ、語彙を増やす活動にした。



4年 国語 「ごんぎつね」

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

目指す児童像

【豊かな心】様子や行動、気持ちなどを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとする子

【豊かな心】感じたことや考えたことを友達と共有し、感じ方に違いがあることに気付く子

具体的手だてと活動

小集団活動での交流

バタフライマップの「手がかりの羽」と「理由の羽」が書けたところで、「課題」につながる箇所を中心に、小集団(3人・4人)で考えを交流し合った。個人読みで読み取ったことを友達と交流することで、友達の考えと自分の考えの共通点や相違点を見付けることができる。



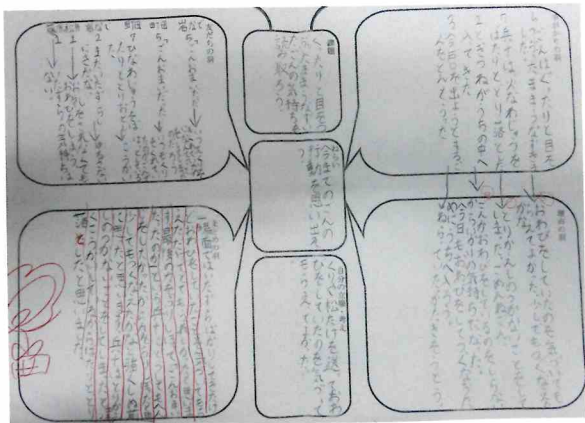
学校図書館司書との連携

学校図書館司書に新美南吉作品を揃えてもらい、学年貸し出しをさせてもらった。授業の時間や読書タイムにも新美南吉作品に触れ、「ごんぎつね」以外の作品も多数読むことができた。学習のまとめとして作った「ごんぎつねリーフレット」に、自分のおすすめの新美南吉作品を載せ、紹介した。



ワークシートの工夫

チョウの羽に見立てた「バタフライマップ」を活用する。「課題」「ねらい」「自分の立場・考え」を中心に置き、「手がかりの羽」「理由の羽」「友達の羽」「まとめの羽」を順に記入していく。「まとめの羽」には、「課題」の答えになる、その時間に読み取ったことを記述する。



言語活動の充実

「ごんぎつね」には、時代を感じさせる言葉や、情景描写、登場人物の様子を表す言葉がたくさん使われている。言葉の意味を調べるだけではなく、その言葉の背景にあるものも想像させながら、お話を読み進めた。

「青いけむりがまだつつくから細く出ていました。」とあるから、ごんの魂が天国へ上っているみたいに感じるな。

「兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。」と書いてあるから、二人の話が聞こえるように近付いたんだな。

ひがん花は学校の前にも咲いていた。秋の花だ。「お彼岸」の花だから、兵十のおつかあが亡くなったこととつながるな。

5年 道徳 「流行おくれ」 A 節度、節制

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

目指す児童像

【豊かな心】自らを見つめ、自らに問い掛けながら、自分の考えをもてる子ども

【豊かな心】友達との関わりの中で、よりよい生き方を見付けようとする子ども

具体的手立てと活動

課題解決型学習

学習問題を学級全体の共通問題として設定し、本教材を通して考え、終末に再度投げ掛けて問題に対する答えを導き出すという課題解決型学習とした。これにより、児童は1時間を通してこの問題を念頭に考え、解決しようことができ、この時間の学びを明確に捉えることができた。



学習問題設定の工夫

1時間を通した学習問題を「節度を守るために必要なことは何だろうか。」と設定し、焦点化した。これにより、導き出したそれぞれの答えを自分の生活につなげて考えやすかったり、取り入れやすかったりすることができた。



小集団の活用

後段の課題解決の場面で、自分の考えを書いた付箋を持ち寄り、友達の影響が見える形で小集団の交流を行った。これが相違点を見付けたり、新しい考えを生み出すことができた話し合いの場となり、自分の考えに広がりや深まりをもたせることができた。



板書の工夫

主人公の思いや心の変容が捉えやすいもの、児童の思考過程が見えるようなものにするため、挿絵や吹き出し、キーワードなどを使い、全体を図式化してまとめた。これにより、児童が課題からふれることなく、板書をもとにして自らの考えを深めたり、整理したりできる手立てとなった。



5年 外国語 Unit5 「She can run fast. He can jump high.」

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

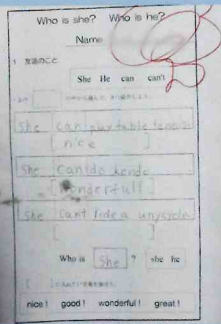
目指す児童像

- 【豊かな心】相手を意識しながら主体的に外国語を使って、コミュニケーションを図ろうとする子
- 【豊かな心】自他のよさを感じて、相手との関わりを大切にしながら楽しく表現することができる子

具体的手だてと活動

英語による言語活動の充実

コミュニケーションを図るために必要な単語、言語表現は、絵カードやチャンツ、small talk等を通して繰り返し触れさせた。また、学習した表現を使ってインタビューする活動、音声で十分に親しんだ単語や表現を書く活動等多様な言語活動を単元の中に計画的に取り入れた。振り返りをする中で、できる事が一つずつ増えていることが自覚できるので、自信をもって主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする姿が見られた。



ICTと小集団の活用

3人の小集団で活動し、タブレットを使用して互いに撮影し合った。少人数であるため①相手意識、目的意識がはっきりした。②一人一人の会話量(コミュニケーション)が確保できた。③互いに称賛やアドバイス、見直しなどの学び合いが充実した。④タブレットの映像により、瞬時に自分の課題が明確になった。また、小集団がより効果的になるよう、必要なチェックポイントを明示した。



「Big voiceとSmile」
がよかったね。

必然性のある単元計画の設定

本単元の学習内容である「She can ~」の表現を無理なく自然な形で使う場面として、「友達について、自分だけが知っている事をクイズにして紹介しよう」という課題を最終目標として設定した。コミュニケーションの目的に必然性のある活動を取り入れたこととクイズ形式でやりとりをすることで、最後の授業まで主体的にコミュニケーションを図ろうとする意欲が持続した。



He can ~ .
He can't ~ .
He can ~ .
Who is he?

ピアノが弾けて、けん玉が得意なのは
〇〇さんだ!

ALTとHLTの役割の明確化

Activityの時、基本的にALTは、児童が自信をもって積極的に英語で表現できるように発音やイントネーションなどを中心に称賛やアドバイスをし英語独特のリズムの理解と習得をめざした。HLTは、表情 (Smile) や身振り (Gesture)、声の大きさなどについて称賛やアドバイスをした。

「Gesture」をつけ
るといいよ。



「イントネーション」
はよかったですか?

6年 「水よう液の性質」

思考力・判断力・表現力

主体性

多様な考え

自主性・社会性

対応力(場・相手)

思いやりの心

思考の深まり

目指す児童像

【豊かな心】友達と協力しながら、問題を解決しようとする子

【豊かな心】今までの学習を活用し、論理的に実験を組み立てられる子

具体的手立てと活動

小集団の活用

単元を通して、全て同じ小集団で学習を進めた。単元を通じた課題である10種類の水溶液を見分ける活動では、実験計画から実験の分担まで自分たちで既習事項を確認し合いながら組み立てることができた。各班ごとに別の実験をしたことで、それぞれが実験に関わり、主体的に取り組むことができた。



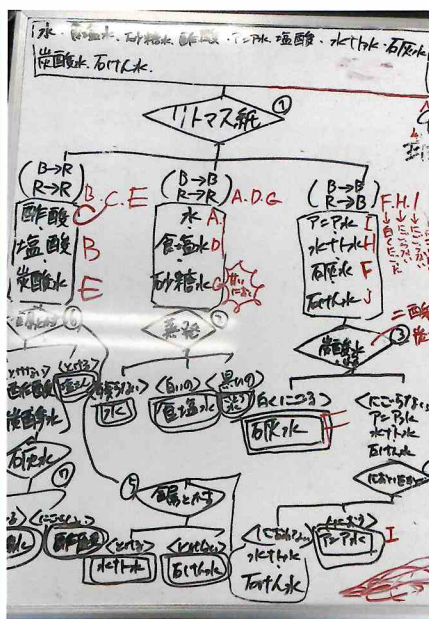
課題設定と教材の工夫

今回の単元「水よう液の性質」の導入として、10種類の透明な液体を見せた。5年生での学習で出てきたものや、生活の中で見かけるものを中心に用意をした。また、見た目では変化がつかないように酢ではなく酢酸を使用したり、石けん水を洗剤に変えるなど、教材を工夫し、科学的な方法での見分け方を学習する必要性をもたせた。



フローチャートの活用

実験の手順をフローチャートにして表すことで、水溶液の性質と現象を関連付けながら、結果を見通した実験計画を立てることができた。また、フローチャートを使うことで、実験内容の話し合いや実験での作業の分担、結果の共有をしやすくし、協力して実験を進めることができた。



実験組み立ての視点の共有

実験手順のフローチャートを組み立てる際は、個人で組み立て、小集団でさらに話し合いをして一つの実験方法に決定した。より良い実験方法を立案するためのポイントを提示することで、自分の考えの軸や小集団での話し合いの視点になった。

実験の方法を考えるポイント!

- ・安全である。
- ・手順が簡単である。
- ・用意する道具が少なくすむ。
- ・何度やっても同じ結果が出る。
- ・他の人に結果を説明して納得させることができる。

幼稚園

教育目標

○たくましい子

○進んでやる子

○心豊かな子

<課題>

- ・自然環境が少ない
- ・季節を感じる経験が少ない

- ・作ったもので遊ぶ楽しさを感じてほしい。
- ・自分の思いやイメージを形にできた達成感を味わってほしい。
- ・自分のやりたいことに自信をもってほしい。
- ・自分なりの表現を楽しんでほしい。
- ・友達と思いを出し合いながら遊びを進めてほしい。

・身近な自然に触れ合って遊ぶ中で、季節の変化に気付いたり、不思議に思ったりして季節感を取り入れて生活する。

豊かな感情

好奇心

小学校以降につながる力

思考力

表現力

研究主題

「豊かな心と健やかな体の育成」

—季節を感じて遊ぶ子どもを育てるために—

目指す 幼児像

- ・身近な自然物に親しみをもち、自分から関わったり遊びに取り入れたりすることを楽しむ子。
- ・季節の変化に気付き、心を動かして生活する子。

季節を感じる遊びや身近な自然に触れ合って
遊びを楽しめる教材や環境構成、援助のあり方を探る。

季節感を取り入れた
遊び・ものとは…

春の訪れ

- ・ウメ・モモ・スイセン・タンポポ
- ・ひなまつり：歌・製作

花の夏

- ・砂場・土
- ・水遊び：色水・舟作り・シャワー
- ・プール遊び
- ・七夕飾り・祭り
- ・カブトムシの幼虫、カブトムシ など

春

- ・チューリップ：歌・折り紙
- ・ダンゴムシ：探す・触れる・飼う・観察・作る
- ・草花の色水遊び
- ・こいのぼり など

冬

- ・雪・氷・霜・霜柱・影踏み・白い息
- ・スキーごっこ、スケートごっこ、そりごっこ
- ・お正月遊び・お餅つきごっこ
- ・節分：歌・製作 など

秋

- ・花の種取り
- ・ドングリ：歌・楽器遊び・ドングリ転がし・ごちそう作り・リース材料
- ・マツボックリ・木の実・落ち葉拾い
- ・落ち葉遊び・サツマイモ・芋蔓
- ・お月見・十五夜 など

梅雨・初夏

- ・雨、雨粒、雨音
- ・カサ、長ぐつ
- ・カタツムリ、カエル、アゲハ、アジサイ
- ・シャボン玉 など

事例検討

遊びを楽しむ姿から新幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる姿と照らし合わせ、より具体的な発達に応じた経験や援助を探る。

- | | | | |
|------------------------|-------------|----------------|----------------|
| ① 健康な心と体 | ② 自立心 | ③ 協同性 | ④ 道徳性・規範意識の芽生え |
| ⑤ 社会生活との関わり | ⑥ 思考力の芽生え | ⑦ 自然との関わり・生命尊重 | |
| ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 | ⑨ 言葉による伝え合い | | |
| ⑩ 豊かな感性と表現 | | | |

土と関わって

- ＜教師の願い＞
- ・土の感触を知り、自然物の不思議さや性質を自分なりに感じてほしい。
 - ・土や草花に親しみを持ち、見立てたり、遊びに取り入れたりする楽しさを感じてほしい。
 - ・友達と一緒に遊ぶ中で自分の思いを出したり、相手の思いを聞いたりしながらやりとりを楽しんでほしい。

教材・環境



＜友達と遊ぶ楽しさを感じられる環境構成＞

トレイ、ビールケース、お風呂のイス、板積木など

＜見立てて遊ぶ材料＞

おたま、ボウル、ザル、泡立て器、ふるい、スプーン、プリンカップなど



年中組 5月

花も一緒にのせてみるときれいだよ!

土はふるいにかけてさらさらになったよ!



教師の援助・環境の工夫

- ・幼児が遊び出しやすいように予め環境を用意しておく。
- ・土や草花、雑草などをすぐに取り出して遊べるように用意する。
- ・友達とのやりとりを楽しめるような場をつくるための用具を用意する。
- ・自分で場をつくったり片付けたりできるように遊具の置き場に表示をつける。
- ・教師がモデルになって遊び方を示したり、幼児同士の関わりがうまれるように、声掛けをしたりする。
- ・友達と一緒に関わって遊ぶ楽しさを感じられるように幼児の姿を具体的に言葉にしたり認めたりする。

プリン、1つください!

ほくもください!

今、作っていますのでお待ちください!



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる姿

- ⑥思考力の芽生え 遊びの中で土や水に触れることで感触を楽しんだり、繰り返し試したりする。
- ⑦自然との関わり・生命尊重 季節の自然物に触れることで花や草に親しみを持ち自分なりに遊びに取り入れる。
- ⑩豊かな感性と表現 自分なりに見立てたもので遊ぶことを楽しんだり、友達のつくったものを真似してつくったりする。

年少組 9月の遊びの様子

- ＜教師の願い＞
- ・土の感触を味い親しんでほしい。
- ＜経験内容＞
- ・遊びに使えるプランターの土を器に移して遊ぶ。
 - ・身近な草花を使って遊ぶ。



さらさらの土に絵を描いたよ。

＜教師の援助・環境構成＞

- ・湿った土と乾いた土を用意して、感触の違いを感じられるようにする。

年長組 5月の遊びの様子

- ＜教師の願い＞
- ・砂と水、それぞれの性質に気付き、考えたり試したりして遊んでほしい。
- ＜経験内容＞
- ・友達と思いを出して遊ぶ楽しさを感じてほしい。
 - ・校庭の砂場で必要な用具、遊具を使って遊ぶ。

水、流すよ!

もっと掘らなきゃ。



＜教師の援助・環境構成＞

- ・裸足で感触を味わえるように、ゴザやタライ、タオルを用意する。
- ・使いたい用具、遊具がすぐに取り出せるよう並べる。

水と関わって

＜教師の願い＞ ・舟作りを通して、素材や材料を考えたり、試したりしながら作る楽しさを感じてほしい。
・繰り返し遊ぶ中で、ものの仕組みや進ませ方などの違いに気付いたり、面白がったりして取り組んでほしい。

教材・環境

＜舟作りに必要な材料＞

・ペットボトル・紙パック・輪ゴム・プロペラ (2cm×9cm)
・キャップ・ストロー・食品トレー・プラスチックカップ・クリアファイルの切った物・セロハンテープ・ビニールテープ など

＜舟遊びができる環境構成＞

・マルチパネを組み合わせ、ブルーシートを掛けて大型水槽を作る。
・遊戯室、サクラ広場と天候に合わせて大型水槽を設定する。

ゴムの巻き方で舟の進む方向が違った!



年長組 6月



まっすぐ行った!



こっちの方が速いね

教師の援助・環境の工夫

・舟にするのにより素材を考え、材料選びができるように環境を整える。
・舟が浮くと風を送ったり波を起こしたりして動かそうとする姿が出てきたので、ゴムの力を使って動く方法があることを知らせる。
・ゴムの巻き方や位置、プロペラの貼り方を調整することで進み方が違うなど、子どもたちが気付いたことに共感したり、認めたりする。
・同じ場で作ったり、走らせたりしている友達の姿が刺激となり、自分なりに試したり、工夫したりする姿につながるよう声を掛ける。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる姿

- ① 健康な心と体 ・自分のやりたいことに向かって取り組む。
- ⑥ 思考力の芽生え ・水に浮かぶ舟を作りたいと思い、自分なりに物の性質について考えたり、気付いたりする。
・ゴムの力で動く舟の進む方向や速さ、長さなど自分なりに試したり工夫したりして遊ぶ。
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重 ・暑い日に水に触れる心地よさを味わいながら、水が流れていくことや舟を浮かべることを楽しむ。
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚・長さやバランス、重さなど、自分の考える目的に合わせて材料を選んで作る。
- ⑨ 言葉による伝え合い ・自分なりに感じたこと、考えたことを話す。
・友達の言葉を聞いて自分の思いや考えを伝える。
- ⑩ 豊かな感性と表現 ・様々な材料から自分で使いたい材料を選んで舟作りを楽しむ。

年少組 6月の遊びの様子

＜教師の願い＞ ・水の冷たさや感触を楽しんでほしい。

＜経験内容＞ ・水をたらいから移し替えて遊ぶ。
・ペットボトルや透明の袋等に入れた水を見たり、触ったりする。

ぶにぶにしてる



気持ちいいね

＜教師の援助・環境構成＞

・感触を楽しめるように、透明の袋や透明のカップなどを用意する。
・幼児が楽しんでいることを教師が言葉にして共感したり、一緒に遊んだりする。

年中組 7月の遊びの様子

＜教師の願い＞ ・身近な草花を使って色水をつくる楽しさを感じてほしい。

＜経験内容＞ ・草花を手で揉み、色が出る面白さや不思議さを感じる。
・いろいろな草花から色が出ることを喜び、色の違いに気付き、友達や教師に伝える。

オシロイバナのお花からこんなきれいな色が出た



私も色が出てきた!どんな色かな～?

＜教師の援助・環境構成＞

・自ら興味をもった草花を採って、色水が作れるように遊びに使える雑草や花を環境に用意する。
・教師も一緒に遊びに入りながら、色が出る喜びや面白さに共感する。

木の実と関わって

- ＜教師の願い＞ ・遠足で拾ったドングリを使って色々な遊びを楽しんでほしい。
・面白いと思ったドングリの遊びを繰り返し楽しんでほしい。

教材・環境

＜ドングリ転がし＞

- ・ドングリ (いろいろな種類のドングリを集め、種類ごとに箱に入れて用意する)
- ・ジュースパックを半分に切ったもの
- ・トイレトペーパーの芯を半分に切ったもの

＜ドングリのお散歩＞

- ・ドングリ (色々な種類のドングリを集め、大きさごとに箱に入れて用意する)
- ・段ボール箱の底に模造紙を貼りつけたもの
- ・絵の具 (赤・黄・青)
- ・お風呂の椅子

教師の援助・環境の工夫

- ・普段の遊びでもドングリを取り入れられるよう、戸外だけでなく保育室の中にもドングリで遊べる環境を用意する。
- ・ドングリ転がしでは、幼児が扱いやすい高さになるように坂の高さや角度を調整する。
- ・繰り返し遊ぶことを楽しめるよう、ドングリを十分に用意する。
- ・幼児一人一人がドングリと関わる姿を受け止め、一緒に遊ぶ中で共感する声を掛ける。
- ・ドングリに親しみや興味がもてるよう、いろいろな種類のドングリを準備し、大きさや形の違いがあることを話題に出す。
- ・ドングリが転がる形跡が楽しめるように、濃度の高い絵の具を用意する。

年少組 10月

大きいドングリは
とっても速いね!



ころころ転がったよ!
もう一回やりたいな♪

ちゃんと転がるかな?
転がったよ!!



ドングリさんの足跡
がついた!!

私もやりたい!!



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる姿

- ⑦自然との関わり・生命尊重 ・ドングリを使っていろいろな遊びを楽しんでいる。
- ⑥思考力の芽生え ・絵の具のついたドングリを転がすことで跡が付く面白さや不思議さを感じている。
- ⑩豊かな感性と表現 ・ドングリを転がす場で遊ぶことを繰り返し楽しんでいる。
- ⑩豊かな感性と表現 ・遊びの中で感じたことや思ったことを自分なりに言葉にする。

年中組 10月の遊びの様子

＜教師の願い＞ ・秋の自然物を使って自分なりに試したり、友達と一緒に工夫したりして楽しんでほしい。

＜経験内容＞ ・身近な素材 (空き箱、画用紙、ペーパー芯など) を使ってコースを作りドングリを転がす。



ドングリが下に落ちたら、カップの中に入るかもよ?

ここから転がしたらどうなるかな?

＜教師の援助・環境構成＞

- ・幼児が身近な素材を使って遊び出せるように空き箱やペーパー芯などを用意する。
- ・自分なりにコースを作る楽しさが感じられるように思いを引き出し素材を提案する。
- ・いろいろな転がし方を試す姿に共感したり、転がる方向と一緒に考えたりする。

年長組 11月の遊びの様子

＜教師の願い＞ ・様々な秋の自然物を使って、自分のイメージを形にして表現することを楽しんでほしい。

＜経験内容＞ ・木の実、枝、落ち葉などを形の台紙に貼り付けてオブジェを作る。

たくさんの材料から
使いたい物を選べる



ここに付けると
いいかも♪



＜教師の援助・環境構成＞

- ・1人ずつが自分の使いたい材料を選び、手元に置いてじっくりと作れるようにカップを用意する。
- ・自分なりのイメージを形にしたり楽しんだりしている姿に共感する。

豊かな心と健やかな体の育成 まとめ

成果

小

○小集団活動

- ・小集団活動での学習により学び合い（他者との協働・対話的な学び）が充実し定着した。
- ・他者を認め、自分を認めてもらえる喜びが味わえた。
- ・思考ツールやICT機器の活用を手立てとすることで学習過程での思考が深まった。
- ・自分の考えに自信をもち発言が増えるなど、主体的な学びの姿が多くなった。

○言語活動の充実

- ・自分の考えを視覚化するための手立ての工夫（思考ツールの活用やワークシートの工夫等）を取り入れることで、主体的に自分の考えを伝えようとする姿が見られた。

○課題解決型学習

- ・児童が自ら課題を解決したくなるような課題設定の工夫を取り入れることができた。

○特別な教科道徳・外国語科・外国語活動に特化したことで主題との関連性について迫ることができた。

幼

○季節ごとにどんな遊びや環境を取り入れると幼児が楽しめるかを園全体で教材研究することができた。

○それぞれの学年でいろいろな視点で見ることができ、多くの学びがあった。

○教師自身が、小さな自然にも気づき、環境に取り入れることができた。

課題

小

●特別の教科道徳・外国語科・外国語活動の教科化に伴う、主題との関連性の更なる追究

●小集団活動の中で、目的に応じて個の力を確実に高めていけるようにする。

●特に「深い学び」を実現するためのカリキュラム・マネジメントの更なる確立を目指し、これまでの研究を整理・構造化していく。

●新学習指導要領が全面実施となる中での、評価体制の確立と更なる教科指導の工夫・改善を行う。

幼

●学年ごとの関わりの場となり、学年を超えて関われるような場の工夫をする。

●それぞれの季節で自然を感じられるように考えた環境を他学年でも共有できるとよい。

●遊び環境からどんな経験をして、どんなことを学んだのかなどを読み取ることが難しかった。幼児の成長につながる具体的な手立てを探り、援助していくことが必要である。

●今年度の研究が日常の環境として継続し、幼児にとって使いやすい環境を考えていく。

【御指導いただいた先生方】

東京女子体育大学 教授
聖学院大学 教授
前中央区立月島幼稚園 園長

小林福太郎 先生
東 仁美 先生
岩城眞佐子 先生

中央区教育委員会

指導室長 中山晴義
統括指導主事 上原士士
指導主事 平野 収
幼児教育専門幹 中島由美子

教育支援担当課長 細山貴信
統括指導主事 清水浩和
指導主事 中村真紀絵

指導主事 上田純一

指導主事 五十嵐容子

【研究に関わった教職員】 (◎研究主任 ○研究推進委員)

小学校

校長 植村 洋司

副校長 新屋由美子

1年 ○ 関澤 里織

富田 七海

小野 育実

2年 小豆野咲子

川合 晶道

3年 ○ 常安 達彌

相澤 博之

新井 万葉

4年 ◎ 関口里可子

◎ 中原 里美

5年 鈴木可奈子

○ 南村 章子

6年 ○ 大竹 悠介

千葉 日織

阿部 和也

菅野 志保

太田 倫子

○ 高橋 英樹

支倉 絵璃

水上美穂子

小早川直也

奈良部 淳

太田 知依

算数少人数

音楽

音楽

図工

養護

事務

特別支援教室専門員

区算数講師

区算数講師

体育指導補助員

体育指導補助員

栄養士

○ 川島 幹雄

宮澤 裕之

北村 桃子

古舘 俊江

上野 弘子

中台 真紀

水村 悦郎

石塚 幹夫

石井 真弓

岸谷 紀久

武蔵 一樹

金井 幸枝

幼稚園

園長 太田 禎子

主任 田村みず希

主任 川原田明美

年少

阿部 真秀

田邊 彩子

小坪 直子

齋藤 舞

年中

深瀬 良子

宮野 莉歌

年長

◎ 鈴木久仁子

河田 康介

保育補助

玉置 知美

加藤 幸代

数見 舞子

高木 淳子

石井 典子

原田 智子